

令和4年度赤い羽根共同募金ポスターコンクール 『総 評』

新型コロナウイルス感染症の国内発生から2年以上が経過し、日々の教育現場では、少しずつ日常を回復する活動を始められるなか、今年度も例年どおり小学校・中学校に参加いただき、高校生の部門も作品数の増加が見られ全体で402点の応募がありました。活動の回復と活性化でお忙しいところに、応募した生徒さんや、先生を始めとする学校関係者に心から感謝申し上げます。

今年度の応募作品は、安定した内容の表現と、工夫を凝らした作風と、熱心な書き込みの深い造作に、新鮮さを感じました。知事賞に選ばれた作品は、しっかりとした構図から未来への広がりや若い情熱を感じる表現と、卓越した描画技術で、熱心に書き込まれた作品となりました。今後も「赤い羽根共同募金」の取組を広く周知する斬新な発想と子供たちの柔軟な表現に期待しています。

令和4年9月15日

審査委員長

大分県立芸術文化短期大学美術科 准教授 於保政昭